

道

み
ち
し
ば

芝

水戸市青少年育成推進会議

会長 坪 哲男

水戸市教育委員会事務局教育部生涯学習課内
水戸市中央1-4-1 ☎029-306-8692



水戸市役所HP

(水戸市青少年育成推進会議)

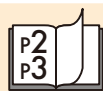
「踏まれても根強く耐え、そっと腰をおろせばやさしく憩わせてくれ、子どもたちを伸び伸びと遊ばせてくれる道芝」
みちしば

私たちは、明日を担う青少年の健全な育成を図るため、市民の皆様とともに行政と一体となってきめ細かな青少年育成活動を力強く推進しています。

青少年若者体験活動事業



中学生交流会



青少年
指導者研修会



社会環境
向上研修会



「家庭の日」絵画・ポスター
と作文コンクール



わたしたちの地域⑬
五中学区



うちの子
となりの子

フクフクドキみなであそぼ！

青少年若者体験活動事業

中高生が企画サポーターとして運営

企画会議

当日

とき／令和6年8月21日(水)
ところ／三の丸市民センター
とき／令和6年10月20日(日)
ところ／水戸市少年自然の家

今回も事前に企画会議をして事業内容を決め、当日の運営も中高生が中心となっていました。

当日は、小学生47名の参加者が集まり、中学生が各チームの担当として小学生

をサポートし、サブリーダーが中学生をサポートしながら事業を運営しました。

代表かくれんぼや宝探し、ドッジボールなど白熱して大いに盛り上がりました。

昼食ではおにぎりコンテストを行いました。自分の好きな具材を使ったり、好きなキャラクターをモチーフにしたり、皆で楽しくオリジナルのおにぎりをつくり、美味しく食べました。

また「おにぎりアクション」に参加していることを藤田部長が子どもたちに説明し、多様な世界を認識してもらいました。

フォトラリーは、時間制限を設けて行うことで、どのようなルートにするかを事前に決め計画的に回ること



▲フォトラリー チェックポイント撮影

とができました。各チームで様々な協力や工夫が生まれました。

参加した小学生だけでなく、企画した中高生にとっても多くの事を体験するこゝとができ、達成感が味わえた事業となりました。



おにぎりアクション2024
-おにぎりで世界を変える-

総務広報部会

青少年指導者研修会

第1回

講師 ①「デジタル・シティズンシップとは」
水戸市青少年育成推進会議

副会長 川野邊 洋美氏

講演 ②「学校におけるデジタル・シティズンシップ教育について」

講師 水戸市青少年育成推進会議
青少年社会参加部会部長 藤田 秀一氏

とき／令和6年8月28日(水) とところ／水戸市役所

SNSによるいじめや闇バイトなど、色々な問題が日々起きています。デジタル社会では、ICT(情報通信技術)を使いこなすための知識や能力が大人にも子どもにも求められます。

ではなく、安全な近づき方を主体的に学ぶことが必要であり、大切な3つのステップがあります。立ち止まる、考える、相談する。
是非皆様も実践してみてください。

「デジタル・シティズンシップ」とは、デジタル技術の利用を通じて、社会に積極的に関与し、参加する能力のことです。

学校での授業の様子を聞いた後、参加者も「責任ある発信ってどういうこと？」のテーマで考え、協議しました。

危険だから遠ざけるの



第13回 中学生交流会

テーマ

「デジタル・シティズンシップを 身に付けるために」

「未来を生きる私たちが考えるべきこと」

とき／令和6年12月8日(日) 10時～16時 ところ／水戸市役所

市内の中学生が交流し、意見交換することで、幅広い視野を持ち、社会参加への意欲を高めることを目的に開催しました。



「デジタル・シティズンシップ」という言葉になじみのない方も多いと思いますが、中学生も同様です。

「聞いたこともなかった」、「別な言葉だけど授業を受けた」等の声が聞こえました。知らなかったからこそ、事前の予習にも力が入り、当日は「デジタル格差」や「フィルターバブル」、「自立と自律」などの言葉が飛び交い、核心を突いたハイレベルな話し合いになりました。更に発表もグループごとに工夫を凝らし、持ち込んだパソコンで作成したパワーポイントで発表をするなど見ていた大人も目を見張る交流会となりました。

最後に中学生が、「学校を変える力がある人たちが集まっているのだから今日の体験を持ち帰り、学校や

家庭を変えていきましょう!」と呼びかけました。



第2回 講演 「笠原地区の居場所づくり」

講師 笠原中学校区青少年育成会

鈴木 文洋 氏
海老澤靖範 氏
鈴木 理恵 氏

とき／令和6年11月13日(水) ところ／水戸市役所

笠原地区での地域の居場所を作る4つの取り組み、「みんなみんなのいずみパーク」、「笠原カフェ」、「地域の絆プロジェクト」、「おやじの会」について、お話を伺い、子どもの居場所づくりに

笠原の活動3箇条
1 失敗を恐れない
2 反省をする
3 とりあえずやる
今後の地域での取り組みに生かしていきたいと思います。

子どもとの居場所づくりには、学校・保護者・地域が連携した環境づくりが大切だということを学びました。

グループトークでは、「〇〇の居場所づくり」について各チームが具体的なテーマを決め、意見を出し合いました。どのチームも白熱した議論が展開され、とても有意義な時間でした。



(活動の様子はP8をご覧ください)

社会環境向上研修会

とき／令和6年12月14日(土)

ところ／水戸市教育総合研究所

「ひきこもりの現状

～市民の力で地域に光を～」

講師

茨城県ひきこもり相談支援センター
センター長 浅沼 秀司 氏

地域の大人たちが青少年の健全育成に関わることの大切さを再認識し、何ができるのかを話し合い、家庭や地域における教育力を向上させることを目的に開催しました。



講師の浅沼氏は、一般社団法人アイネット理事長としても幅広く活躍されています。ひきこもり支援事業の他にも、就労支援事業、生活困窮者支援事業、障がい福祉サービス事業、緊急避難支援事業、フリースクールの運営やDV、家庭問題相談等です。

不登校とひきこもりは切り離せない問題で、年々増加しているのが現状です。学校以外の居場所づくりも必要で、色々な取り組みがなされています。また、何より親子関係を良くすることが大切だと思います。ひきこもりを解決する魔法の手段はないのですが、相手を尊重し、こちらの倫理観や道徳観を押し付けない接し方を貫き、時間をかけて個々の方々の支援を続けているとのことでした。

ひきこもりの当事者は、SOSを出せない、相談できない人が多いとのことですが、相談された場合には、相手をねぎらい、質問や説得はしないで、傾聴に徹するのが原則のようです。市民の皆様は心に留めていただき、寄り添っていただければ幸いです。

い限りです。

地域・環境部会では、「家庭の日」推進事業、社会環境向上活動、緊急避難所「こどもの安全を守る家」事業、青少年健全育成標語塔活動の一つとして、月に1回、市内9箇所に設置された白ポストによる有害図書等の回収作業を行っています。子どもに見せたくない雑誌、ビデオ・DVDは「白ポスト」へ。

有害図書等回収事業(白ポスト)

子どもに見せたくない雑誌、

ビデオ・DVDは「白ポスト」へ



白ポスト設置場所

令和6年度回収点数2,509点 (1月末現在)

No.	名 称	設置場所
1	水戸駅南口	桜川1丁目 水戸駅南口東棟自転車駐輪場付近
2	若宮団地	若宮1丁目 若宮団地入口付近
3	中央郵便局前	三の丸1丁目 中央郵便局前
4	水戸駅北口	宮町1丁目 ペDESTロリアンデッキ西側階段下
5	赤塚駅北口	赤塚駅北口階段下
6	赤塚駅南口	赤塚駅南口駐輪場付近
7	河和田団地	河和田3丁目 河和田郵便局前
8	桜川団地	見川5丁目 県営桜川団地バス停付近
9	内原駅前	内原駅駐輪場付近

「家庭の日」絵画・ポスターと作文コンクール

水戸市青少年育成推進会議では、家庭の大切さ、家庭の役割のすばらしさについて改めて考える毎月第3日曜日の「家庭の日」の普及啓発に取り組んでいます。その一環として、家族で過ごした思い出やこんな過ごし方をしたいという希望などを題材に絵画や作文を募集しました。1,282点の作品が集まり、審査の結果11月16日にイオンモール水戸内原にて表彰式を開催しました。



▲会長賞「とうもろこし畑で収穫」 梅が丘小学校 堀口 結愛



▲会長賞「おまつりでおばあちゃんのキッチンカーのお手伝い。家族みんなでたこ焼きを食べているところ。」
酒門幼稚園 黒田 献人



▲会長賞「うみにはいりたいな」 渡里小学校 福田 おと



▲会長賞「Three Brothers smiling」 常澄中学校 竹田 リヤム



イオンモール水戸内原にて展示(令和6年11月15日～11月24日)

入賞者一覧 (敬称略)

絵画・ポスターの部

👑 会長賞

黒田 献人
福田 おと
堀口 結愛
竹田 リヤム

👑 教育長賞

清水 啓真
三宅 穂乃香
石川 楼色
安保 紗良

👑 奨励賞

柳田 瑚都
中野 壱紀
佐藤 虎伯
富田 実楠

作文の部

👑 会長賞

片岡 明花莉
石川 夕夏
森山 心愛

👑 教育長賞

岡田 啓吾
横山 陽凛
百武 佳穂

👑 奨励賞

岩本 唯愛
荷見 希
園部 匠海

五中学区

わたしたちの地域⑬



五中学区には、堀原小学校、渡里小学校、第五中学校があります。

五中学区青少年育成会では、地域・保護者・学校が連携を図り、児童・生徒のより安全・安心且つ健全育成のための活動を行っています。また、地域の行事への参加・協力に積極的に取り組んでいます。



通学路安全確認・地域清掃の様子

五中学区青少年育成会は、4つの部会で構成されています。

【広報部会】かわら版「はぐくみ」と親と子をつ結ぶ地域会報紙「はぐくみ」を発行しています。

【地域社会部会】「こどもの安全を守る家」の登録者へマップやアンケート、看板の配布を行うほか、児童・生徒の通学路の点



ごちねっと活動協力団体代表者会議



検を含めたゴミ拾いを実施しています。

【青少年部会】主に地域で行われる行事の運営に携わる「ジュニアリーダーズ」(中学生で構成)の活動をサポートしています。

【ごちねっと部会】ごちねっと活動協力団体代表者会議を開催し、各種地域団体の交流を促進するほか、広報紙「ごちねっとファミリー」を年2回発行しています。

今後子どもたちの健全育成と地域の発展のために頑張っています。

君もサブリーダーになろう!

水戸市サブリーダーズ会とは…

水戸市に居住又は市内の高等学校に通う高校生によって組織されるボランティア団体です。

水戸市教育委員会の指導のもと、様々な団体や市などの事業の運営補助や、会員自ら事業の企画・準備・運営を行っています。

○主な活動

☆サブの宿題おたすけ隊

小学生に、夏休みの宿題の手助けをする勉強会です。

☆中高生カフェ

中学生に、自分の通う高校の魅力や受験勉強の仕方を教える進路相談会です。

そのほか、姉妹都市親善友好少年交歓研修の補助指導員として、福井県敦賀市に派遣されたり、県内の高校生グループと交流したり、楽しい活動が盛りだくさんです。



中高生カフェ



サブの宿題おたすけ隊

新会員募集

入会を希望する方は、入会申込書にご記入のうえ、水戸市生涯学習課までご持参ください。水戸市に居住又は市内の高等学校に通う高校生なら誰でも入会できます。

年会費／350円

申込み・問合せ／

生涯学習課(029-306-8692)

詳細はこちら▶



うちの
とむり
の子¹⁹



活動のきっかけは、17年間毎朝見川稲荷神社前で立哨をしている、防犯協会前分会長の姿を見てからでした。旅行会社定年退職後、その経験を生かしたく、地域と健康の為に防犯協会分会

見守り活動から学んだ事

長と立哨誘導員となり、毎日(登校時2名・下校時1名)立哨を行っております。様々な協力者や子どもたちとの出会いから多くの事を学びました。危険な場面(場所)にも遭遇し、学校・

PTA・警察・行政・市議会へ安全対策要請を行いました。

そして「こどもの安全を守る家」事業の依頼を受け、新規登録者10軒と既存の登録者全てに児童作成のお礼の絵をお届けしました。その絵は商業施設店内外や

してくださる協力者。一登録家庭で立哨時に年5回、けがや体調不良の救護をしていた事など地域で子どもを守る事がありがたさを実感しました。

日頃の私の声掛けを真似て、児童は「車来るよ・走るな・一列になれ」と声を掛け合い、また、自主的に横断旗を持つなど、通学安全意識の成長がありました。

児童からの声掛け挨拶、保護者や住民協力者からのお礼で、毎日楽しく元気に活動しています。

(見川地区防犯協会

分会長 島崎 宣夫)

「第9回水戸黄門漫遊マラソン」応援記



10月27日、1万人以上のランナーを国土交通省近くで出迎えました。サントル千波交差点から県庁までの道路が埋め尽くされる程のランナーが押し寄せ、圧巻の眺めでした。

ち、市民の皆様と共に応援を樂しみました。中高生も含め水戸市民が一丸となった切れ間無い応援に、フルマラソンを完走した増田明美さんも勇気づけられたとのこと。10回を迎える来年はさらに盛り上がることでしよう。



青少年育成推進会議運営に
御協力ありがとうございます。

令和6年度の賛助会員

○法人・団体の部

公益社団法人水戸青年会議所
株式会社川又楽器店
認定NPO法人水戸こどもの劇場
茨城県青少年赤十字指導者協議会
瀬谷工業株式会社
水戸ライオンズクラブ
国際ソロプチミスト水戸
水戸ロータリークラブ
水戸西ロータリークラブ
水戸東ロータリークラブ
水戸南ロータリークラブ
水戸市スポーツ少年団本部
水戸西ライオンズクラブ
水戸更生保護女性会
水戸南ライオンズクラブ
水戸東ライオンズクラブ
茨城県信用組合
水戸ブロック明るい社会づくりの会
有限会社湖南家具販売
中央労働金庫 茨城県本部
株式会社吉田石油
水戸市スポーツ協会
有限会社水戸トータルオフィス
水戸商工会議所青年部
株式会社光和印刷

○個人の部

(敬称略・順不同)

酒飯関滝梶小齋大関佐飯谷佐小綿中本高元木石白檜石川川綿林生戸亀藤江野二萩岡環
井村口澤 林藤内山木数正紀光真 正き智昭昌敦茂祐幸洋宏浩由康龍秀規眞眞ふ充哲
則か慶 正理直崇ふみ子葉夫行雄司勝樹美二一史司子子美文子香里代力郎一男実一芳男
彦る久要憲博哉敬子

※本人の御意向により掲載の方もいらっしゃいます。

「笠原地区の居場所づくり」活動の様子



中学生の主張を聴いて 一緒に考えてみませんか 第39回水戸市少年の主張大会

水戸市公式 **YouTube** チャンネルにて **音声** を発信しています！



令和
6年

公開中

←QRコードを読み込んで聴いてみよう！

<https://www.city.mito.lg.jp/site/education/30841.html>

水戸市では、市内の中学生が日頃感じたことや考えていることを主張文にまとめ、発表する「水戸市少年の主張大会」を毎年開催しています。

大会をととして、中学生が、社会に対する関心を高めるとともに、現在どのような問題と向き合い、どのような意見を抱いているのかについて、社会全体で共に考える機会を得ることを目的としています。

第39回(令和6年度)水戸市少年の主張大会の優秀賞・佳作受賞者による主張文の発表音声を公開しておりますので、ぜひお聴きください。

21校42名の
発表が聴けるよ！



※動画(音声)は予告なく終了させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

イオン水戸内原の 『幸せの黄色いレシート』で 本推進会議の活動を 充実させることができます。

毎月11日にイオンスタイル水戸内原及びイオン専門店で買い物をする
と黄色いレシートが発行されます。1階の
「水戸市青少年育成推進会議」の箱にレ
シートを投函してください。多くの皆様
のご参加、ご協力をお待ちしております。
(白いレシートでも可)



石川 野 奈緒美 (育成者)
川 又 宏文 (育成者)
本 郷 きぬ子 (育成者)
清 水 祐司 (育成者)
綿 引 祐子 (育成者)
周 佐 智子 (育成者)
御 手 洗 太一郎 (育成者)
羽 田 佳郎 (育成者)
小 山 聡真 (育成者)
中 村 祐帆 (育成者)
高 智 典子 (育成者)
井 健 一美 (育成者)

編集委員 (○委員長)

「道芝」をお読みいただき、ありがとうございます。全ページカラーで読みやすい紙面を心がけました。コロナで中止、休止されてきた地域や青少年の活動が再開され、活気が戻ってきました。改めて地域の中で青少年の活躍の場が求められていることを喜ばしく思います。若い力が未来を明るく照らす光として、ますます輝いてくれることを私たちは応援しています。

編集後記